

大型公共事業推進の一方で、福祉分野などでのサービス切り下げ 上越市が新年度予算案を発表。3月議会は3日から

2月24日、村山市長による新年度予算説明が行われました。時間は約30分。恒例により質疑なしの説明会でした。

新年度の上越市一般会計の予算額は1064億9188万円です。昨年よりも若干伸びていきます。市長は合併10年目であることなどから「節目の年」であることを強調し、公約に基づいて予算をどう編成したか語りました。市長によると、「新年度の予算編成は、新たな公約の視点を加えつつ、引き続き最優先課題として、『北陸新幹線開業に向けたまちづくり』、『災害に強いまちづくり』、『中山間地の振興』を重点テーマとして掲げ、取組のさらなる強化、充実を図っていくとのことです。

党議員団では議会運営委員会後、議員団会議を開き、予算内容の検討に入りました。新年度の大型公共事業として、新水族博物館整備事業に4億601万円、(仮称)厚生産業会館建設

事業に1億368万円が計上されたのが目立ちます。全体的に見ると、中山間地対策や災害対策などで一定の前進がある半面、紙おむつ助成事業、食育活動推進支援等で、「思い切った」見直しをしてサービスを切り下げたものも少なくありません。にぎやかな論戦をしなければならぬようです。

一般会計予算案等の審査は3日から始まる3月定例議会で行われます。総括質疑には6議員が登壇します。私は6番目、4日に登壇する予定です。

紙おむつ助成、市民税課税世帯は平成27年度から対象外に

上越市は新年度から紙おむつ助成事業を見直し、市民税所得割課税世帯については平成27年度から対象外にする、平成26年度は経過

措置として、支給上限額を現行の半額にする案を提示しました。現行の月額1750円の人は800円に、現行2000円の人は1000円になります。ただ、市民税所得割非課税世帯のうち、要介護4、5の人は現行よりひと月1000円上がります。

市は、「負担能力を考慮しつつ、必要な給付を実施する」「必要な人に対して適切に支給」といいますが、関係市民から反発の声が上がるのは必至です。



【大根餅】先日、初めて食べさせてもらいました。大根といっても、おろしですりおろしてあるので、形は残りません。何となく、あっさりしていて、団子のような食べやすさがありました。吉川区竹直の〇さん提供。



新水族博物館建設を巡り、にぎやかに意見交換

23日の夜、日本共産党議員団主催の「市民の皆さんの意見をお聴きする会」を開催しました。今回のテーマは新水族博物館です。参加者は少なかったのですが、「この計画を議会が承認する場がなかったのではないか。基本計画は議会の承認事項とすべきだ」「毎年30万人からのお客さんが来る施設は市内ではここしかない。基本的には賛成してほしい」「直江津のまちづくりと離れた議論になっていないか」「水族館への案内看板が少ない。改善してもらいたい」など多くのご意見をいただきました。今後の質疑の参考にさせていただきます。参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

2014年3月議会審議日程(会議開始はいずれも10時)

月日	会議	場所	備考
3月3日	本会議	議場	議案提案・総括質疑
3月4日	本会議	議場	総括質疑、橋爪登壇
3月5日	厚生委員会	第一委員会室	平良木議員担当
3月6日	厚生委員会	第一委員会室	
3月7日	建設企業委員会	第一委員会室	上野議員担当
3月10日	建設企業委員会	第一委員会室	
3月11日	文教経済委員会	第一委員会室	私の担当
3月12日	文教経済委員会	第一委員会室	
3月13日	総務委員会	第一委員会室	私の担当
3月14日	総務委員会	第一委員会室	
3月18日	一般質問	議場	
3月19日	一般質問	議場	
3月20日	一般質問	議場	
3月24日	一般質問	議場	
3月26日	本会議	議場	議案採決など

心配しただけ損をしました。母の実家の従兄のことです。二週間前に訪ねたときには、連れ合いのヨシコさんが、「入ってもらえばいいがだでも、インフルエンザにかかって二度も熱出して寝てるんだわ」と言っていたので、心配していたのです。

一週間後、私が訪ねると、従兄は玄関まで出てきて、「お茶飲んでいかんかい」と誘ってくれました。炬燵(こたつ)のところまで行くと、先客がありました。「おおくぼ」(屋号)のお父さんです。

炬燵の上にはレンコンの酢もの、大根やニンジンなどの煮物などヨシコさんの手づくりの料理が並んでいました。そして、真ん中には銅製の鍋がどんと置いてありました。この銅鍋はお酒を燗(かん)するための専用の鍋です。インフルエンザにかかった従兄はすっかり治り、「おおくぼ」のお父さんといっぱいやっていたのです。しかも、かなり出来上がっていました。

お酒を燗する銅鍋は初めて見ました。この鍋は「のうの」(屋号・母の実家)に代々伝わるもので、内側の錫(すず)のメッキはとどころはがれていました。

銅鍋の説明が終わったところで、「おおくぼ」のお父さんが「のうの」にまつわるお酒の昔話を始めました。

「『のうの』んちは人間だけでなく、飼っていた牛や馬まで酒好きだった。酒の匂いするもんだすけ、『のうの』へ行ったら馬まで酒飲むと言われたもんだ。『のうの』んしよのどこじゃ、牛はドブクロ飲んでいるとも言われたもんさ」

近所に住んでいて、「のうの」についてはいろんなことを知っているだけに、「おおくぼ」のお父さんの話には説得力があります。しばらく、家畜とお酒についての話で盛り上がりました。

「飲めば、馬、あだけんでしょ」とヨシコさんが言うと、「おおくぼ」のお父さんは、「あだけね、あだけね。馬、酒飲むと立ったまま、いびきかいて寝るんだよ」と言いました。みんな、信じられないといった顔をしていたので、今度は私が、牛のお産の時にビール飲ませてやったという話をしました。「へーっ、ビールも飲むんかい」「おらたりんしよはもったいながってくんねかつたもんね」という声が出ました。ヨシコさんが後から言いましたが、昔は牛や馬は宝でした。大事な牛や馬に感謝の気持ちを入れてお酒を飲ませることがあっても不思議ではありません。でも、この日は車で来たから、飲むことができません。可哀想だと思っただけでしょうが、ヨシコさんが「つぐら」(屋号)からもらったという山形の餅を勧められました。

「山形県の餅って、何がかわつてんの」と訊くと、「ま、食べてみない。あぐあぐと……」とヨシコさんが笑って言いました。普通の豆餅としか見えませんでした。何と、餅には砂糖が入っていたのです。「つぐら」のイクコさんは山形県の出身だとか。「よく山形から来たもんだね」と言うと、ヨシコさんは「出稼ぎで一緒になつて、おらちのジチャがもらいに行つて来たがだがね」と言つてまた笑いました。

私が山形の餅をご馳走になっている間も、従兄と「おおくぼ」のお父さんは賑やかに酒を飲み続けていました。銅の燗鍋で燗をすると、お酒はまるやかな、いい味になるのだそうです。この日はお酒を飲まない私やヨシコさんをも包み込んで、楽しい、まるやかな雰囲気をつくりだしていました。

ギネスに挑戦「灯の回廊」、より美しく、楽しく

雪とロウソクはこんなにも合うものかと思いました。22日の「灯の回廊」のことです。旧東頸城郡の安塚、大島、浦川原、牧の4区で約60キロの雪道に、11万本のロウソクがともりました。私は午後5時半過ぎ

に家を出て、浦川原区、牧区、安塚区、大島区と回りました。ここ数年、参加していますが、この夜は人出が最高でした。大島の菖蒲、田麦、仁上、安塚の船倉などでは車の列が続きました。

「灯の回廊」は地域の人たちの手作りです。みんなが楽しみ、工夫し、見事な景色をつくりだしていましたね。牧区の大月ではいっぱいやっている人たちがいました。浦川原区の月影地区では旧月影小学校のグラウンドで花火も上がりました。

車が混みあい、菖蒲の飯田邸入りは断念、最後は毎年、行っている「あさひの雪遊び」へ行きました。午後8時頃にやっと着いたのですが、雪の舞台ではちょうど寸劇がはじまっていました。上杉謙信公や安倍総理だけでなく、プーチン大統領やオバマ大統領も登場して、とても賑やか

でした。安倍総理の三本の矢の口上の時、セリフがなかなか出ないとみるや、「どうした。忘れたか」とヤジ。次々と笑いが巻き起こり、まあ、昔の村芝居そのまんまでしたね。ここも例年以上に盛り上がっていました。



オバマ大統領夫妻と水戸黄門も登場



安塚区樽田の民家前に造られた「うさぎの餅つき」の雪像とろうそくの灯り

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果(測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	2月19日(水)	2月26日(水)
上越南消防署	0.036	0.033
上越北消防署	0.050	0.053
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.056	0.043
頸南消防署	0.057	0.047
東頸消防署	0.040	0.043
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.057	0.043